

BELLUNA

証券コード：9997

INTERIM BUSINESS REPORT

株式会社ベルーナ

第45期 中間株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



お客様の衣食住遊を豊かにする





コロナ禍で高まる通販需要を追い風に「総合通販事業」「専門通販事業」など4つのセグメントで増収を達成。国内ホテル事業も8月以降、回復基調に。

代表取締役社長 安野 清

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大により、身体の健康、そして日々の暮らしに影響を受けておられる全ての皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、インバウンド需要の減少や国内外における経済活動の停滞などにより、極めて厳しい状況にあります。足元では緩やかな回復の兆しがあるものの、未だ先行きは不透明な状況です。国内の個人消費におきましては、新型コロナウイルス感染拡大にともなう失業率の上昇や所得環境の悪化により、消費需要が回復するには一定の時間を要すると考えられます。

そのような状況下で、通信販売業界では外出自粛や接

触回避など生活様式が変化した影響により、幅広い顧客層からの需要が高まり利用拡大が進みました。

■ 当期の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は911.4億円（前年同期比5.7%増）、営業利益は45.7億円（同18.2%増）となりました。また、為替相場の変動による損失や資金調達に係る手数料が前年同時期より縮小し、経常利益は51.2億円（同55.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29.2億円（同74.2%増）となりました。

財政状況に関しまして、負債は前期末比で24.4億円増加し1,230.4億円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が34.5億円、未払法人税等が13.8億円増加したことによるものです。一方、総資産は前期末比で54億

財務ハイライト（連結）

売上高	911.4億円	（前年同期比5.7%増）
営業利益	45.7億円	（前年同期比18.2%増）
経常利益	51.2億円	（前年同期比55.5%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	29.2億円	（前年同期比74.2%増）

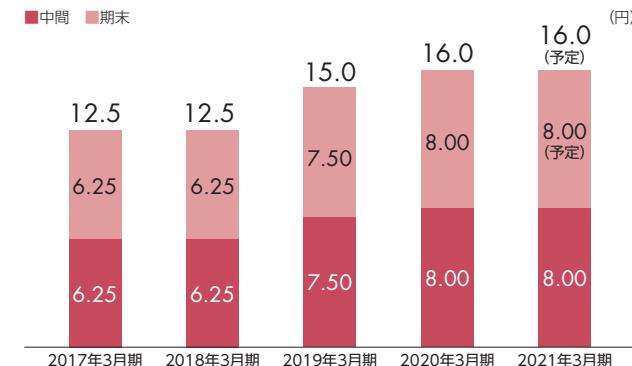
円増加し、2,285.3億円となりました。この結果、純資産は前期末比で29.6億円増加し1,054.9億円となり、自己資本比率は45.9%となりました。

■ 第四次経営計画の進捗

当社グループは現在、2020年3月期から2022年3月期を対象とする第四次経営計画において、「総合通販事業の安定的な成長」「専門通販事業の拡大」「店舗販売事業の拡大と収益改善」「プロパティ事業の強化」に注力し、主力4事業の拡大・強化を目指しております。

当期は、通販事業については新型コロナウイルス感染拡大の影響にともなう巣ごもり需要の増大等により好調に推移しています。「総合通販事業」は雑貨類やホームウェアを中心に通販需要が高まった結果、売上高は404.5億円（前年同期比13.8%増）となり、セグメント利益は18.6億円（同527.7%増）まで拡大しました。「専門通

1株当たり配当金の推移



販事業」は看護師向け通販事業及びグルメ・ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は286.3億円（同26.1%増）、セグメント利益は25.1億円（同58.1%増）となりました。

また「ソリューション事業」も、通販代行サービス及び封入・同送サービスが共に好調に推移したことに加え、JOBSTUDIO PTE.LTD.を新たに連結グループに加えたことなどにより、売上高は49.7億円（同31.9%増）、セグメント利益は13.3億円（同8.9%増）と増収増益となりました。「ファイナンス事業」も国内消費者金融事業の貸付金残高が前年同時期に比べ増加していることにより、売上高は23.2億円（同9.4%増）、セグメント利益は12.8億円（同54.0%増）と好調でした。

総合通販、専門通販他2セグメントが増収を実現した一方で、以下の2セグメントでは減益となりました。「店舗販売事業」は新型コロナウイルス感染拡大防止に向け

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けての取り組み

1. 新型コロナウイルスに関するベルーナグループの基本方針

当社は、日本政府の方針に従い、感染拡大段階に合わせた対応方針を策定し、全従業員へ共有する。当社グループ従業員は、自分自身が感染しないよう、全員が健康管理する。万一、感染の疑いがあった場合は、他者への感染を避けることを最優先する。

2. グループ全従業員への健康管理の義務化

出社時は、手指の定期的な衛生管理（アルコール消毒・石鹸水）、咳のエチケット（マスクの着用・咳をする場合は袖口等で添える）等を従業員全員が徹底する。毎朝必ず検温し、体調の変化に注意する。倦怠感があり感染が疑われる場合や、37.5℃以上の発熱の場合は出勤しない。

3. 業務内での対応

不要不急の出張・会合・研修・研修等を見直し、リモート会議を活用する。在宅ワーク、時差出勤、コアフレックスを活用し、感染リスクを低減する。

4. 感染者発生時の対応

社内に感染者が発生した場合は、管轄行政機関と連携し、該当者勤務エリアの消毒対応、濃厚接触者の特定及び一定期間の自宅待機等、感染拡大を防止する措置を速やかに行う。

たディベロッパーの方針による営業時間短縮や臨時休業の影響により、売上高は102.4億円（同34.7%減）、セグメント損失は15.9億円（前年同期は3.4億円のセグメント利益）となりました。「プロパティ事業」も、ホテル事業において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた行政機関による日本国内における移動制限の影響や外国人の入国規制の影響により、売上高は31.1億円（同30.1%減）、セグメント損失も0.5億円（前年同期は3.0億円のセグメント利益）と減収減益となりました。国内ホテルにおいては、GoToトラベル事業にともなう好影響で、8月以降は回復基調に入っています。

■ 通期業績予想の修正

2021年3月期の通期業績は、当初予算を上回る見通しとなっております。総合通販は、新規顧客の獲得が進んでいることに加え既存顧客のレスポンスも回復しており、好調を維持する見通しです。専門通販も、巣ごもり需要に加え、看護師向け通販や越境ECの伸長もあり、当初予算を上回る見通しです。

修正を行った連結業績予想は、売上高1,970億円、営業利益125億円、経常利益133億円、親会社株主に帰属する当期純利益は95億円を見込んでおります。

当社グループは、これからも収益性と成長性の両立に努め、「通信販売総合商社」としてのさらなる成長を図ってまいります。

株主優待制度

Shareholders Return

優待内容

1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

①当社運営の通信販売で使用できる優待券 ②ベルーナネットで利用できる優待クーポン ③自社取扱の食品またはワイン



2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券



3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 ^{*3}
100株以上 500株未満	① 1,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 1,000円分のネット専用優待クーポン ③ 1,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上 1,000株未満	① 3,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 3,000円分のネット専用優待クーポン ③ 3,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	① 5,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 5,000円分のネット専用優待クーポン ③ 5,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

^{*1} 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販をご利用いただけます。

^{*2} 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

^{*3} ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回（12月上旬発行分）のみの贈呈となります。

^{*4} 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

対象となる株主様

毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単元）以上保有の株主様

連結業績の概況

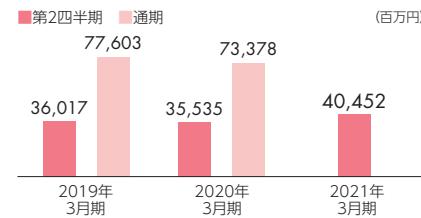
総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とする衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



売上高
構成比
44.4%

売上高
404.5億円 (前年同期比13.8%増)



セグメント利益
18.6億円 (前年同期比527.7%増)



新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、雑貨類やホームウェアを中心に通販需要が高まった結果、売上高は404.5億円(同13.8%増)となり、セグメント利益は18.6億円(同527.7%増)となりました。

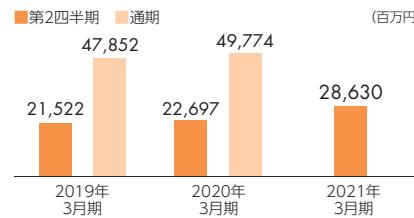
専門通販事業

食料品・化粧品・健康食品の販売など、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



売上高
構成比
31.4%

売上高
286.3億円 (前年同期比26.1%増)



セグメント利益
25.1億円 (前年同期比58.1%増)



新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、看護師向け通販事業及びグルメ・ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は286.3億円(同26.1%増)となり、セグメント利益は25.1億円(同58.1%増)となりました。

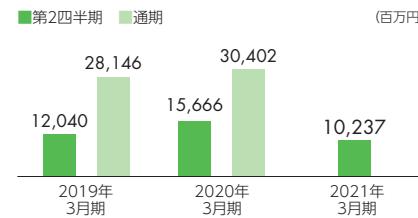
店舗販売事業

衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業

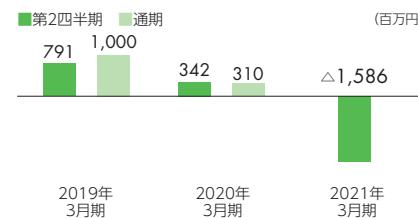


売上高
構成比
11.2%

売上高
102.4億円 (前年同期比34.7%減)



セグメント損失
15.9億円 (前年同期比19.3億円減)



新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたディベロッパーの方針による営業時間短縮や臨時休業の影響により、売上高は102.4億円(同34.7%減)となり、セグメント損失は15.9億円(前年同期は3.4億円のセグメント利益)となりました。

Summary of Consolidated Results

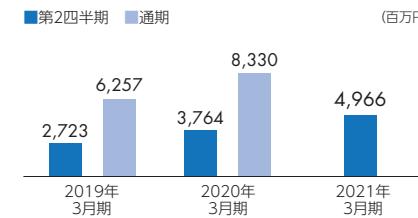
ソリューション事業

封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業

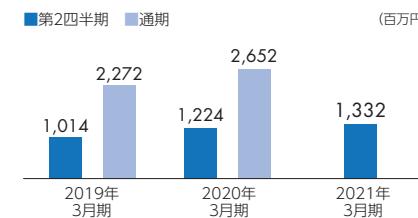


売上高
構成比
5.4%

売上高
49.7億円 (前年同期比31.9%増)



セグメント利益
13.3億円 (前年同期比8.9%増)



通販代行サービス及び封入・同送サービスが共に好調に推移したことに加え、JOBSTUDIO PTE.LTD.を新たに連結グループに加えたことなどにより、売上高は49.7億円(同31.9%増)となり、セグメント利益は13.3億円(同8.9%増)となりました。

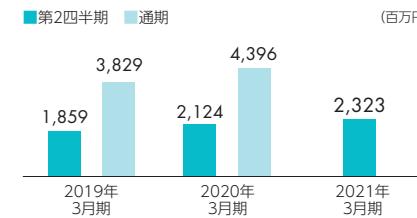
ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を中心に展開するBtoCファイナンス事業

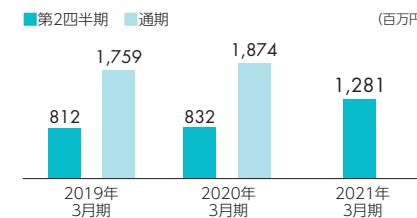


売上高
構成比
2.5%

売上高
23.2億円 (前年同期比9.4%増)



セグメント利益
12.8億円 (前年同期比54.0%増)



国内消費者金融事業の貸付金残高が前年同期に比べ増加していることにより、売上高は23.2億円(同9.4%増)となり、セグメント利益は12.8億円(同54.0%増)となりました。

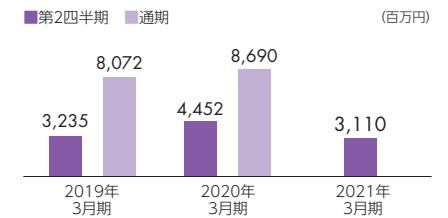
プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける不動産事業およびホテル事業



売上高
構成比
3.4%

売上高
31.1億円 (前年同期比30.1%減)



セグメント損失
0.5億円 (前年同期比3.5億円減)



ホテル事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた行政機関による日本国内における移動制限の影響や外国人の入国規制の影響により、売上高は31.1億円(同30.1%減)となり、セグメント損失は0.5億円(前年同期は3.0億円のセグメント利益)となりました。

ベルーナグループは、「お客様の衣食住遊を豊かにする」という経営理念のもと、事業活動を通じてお客様の生活と幸せの向上に貢献できる企業を目指してまいります。そして、確かな経営基盤のもと、グループの価値を持続的に向上させるとともに、社会への価値を提供し続けます。このCSR基本方針に基づき実施する様々な取り組みから、「従業員」と「環境への配慮」に関するものをご紹介します。



従業員とともに

● 一人ひとりがやりがいを感じ成長できる職場

当社グループでは、従業員一人ひとりがその能力を十分発揮し自己成長できるよう、明るい職場環境と自由闊達な企業風土づくりに努めています。頑張った社員を社員が称える表彰制度「ガンパレーション制度」や、次期経営幹部育成のための「社長塾」、自律的なキャリア開発促進や人材の適切な配置、組織活性化を図る「社内公募制度」などを導入しています。

● 健全な職場環境

従業員が守るべき規範として、「役職員行動規範」を全従業員に配布し携帯させています。また、パワハラ・セクハラ、不正処理などの違法行為や不正行為を早期に発見するために、2005年より「内部通報制度」を導入。社内内部通報窓口「アンフェアレポートBOX」を設置するほか、社外窓口（顧問弁護士）を設け、通報者の匿名性を担保しています。



環境のために

● 太陽光発電システムの導入

地球環境保護活動の一環として、CO₂を発生させないクリーンな太陽光発電システムを一部の物流センターで導入しています。宇都宮流通システムセンター（2013年導入）と吉見ロジスティクスセンター（2014年導入）の同システムによるCO₂削減は、年間約996.7t-CO₂を見込んでおり、これは東京ドーム約60個分の森林が年間に吸収するCO₂の量に相当します。

● 女性の活躍を応援

幅広い業務で女性が活躍している当社では、パート社員から部長職に昇格する例もあります。短時間勤務や勤務形態の変更など、ワークスタイルに合った働き方ができる体制も整備し、2013年に厚労省「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業部門で埼玉労働局長優良賞を受賞。2017年には、埼玉県より「多様な働き方実践企業 プラチナ企業」の認定を受けました。

● 従業員の経営参画意識の向上

お客様満足度向上や企業価値向上のための従業員の意見やアイデアを積極的に活用するため、「改善提案制度」を運用しています。従業員からの提案は、社内イントラ上に登録され進捗や実績を管理。他部門からも閲覧可能にすることで、提案内容の横展開もしやすくなっています。自ら改善活動に取り組める環境が、従業員の経営参画意識を高めています。

● 節電への取り組み

各事業所では、LED照明への切り替えとクールビズを推進。従業員の節電意識向上などを通じ電気使用量を削減しています。

● ごみの削減

商品のサイズに適したダンボールや封筒でお届けすることで資源梱包を推進。複数のご注文もなるべく1箱にまとめ、ごみを減らす取り組みや、梱包資材も再生紙を使うなど環境への負荷低減に努めています。

ベルーナでは、**サステナブル商品**のラインナップを拡充しています。

近年、サステナブル（持続可能）な社会への貢献は、あらゆる企業活動の重要テーマとなっています。ファッションやアパレルの世界における意識の高まりは特に顕著で、ビジネスの各段階で環境負荷の軽減を意識した取り組みが見られます。ベルーナでも、素材にこだわったサステナブル商品のラインナップを拡充しています。

サステナブル商品の開発にあたって

ファッション業界においても、フェアトレードやリサイクル、アニマルフリーを打ち出し、環境や資源に配慮した商品づくりに力を入れているブランドが増えてきました。「気になってはいるけれど、何から始めればいい？」と悩むお客様に向けて、まずは手軽に試していただけるファッションをご提案し、サステナビリティを意識するきっかけにさせていただきたいと考えました。



Organic Cotton オーガニックコットン

3年以上農業や化学肥料を使用していない農場で生産し、化学薬品でなく天然の染料で染め上げているオーガニックコットン。環境負荷を抑え、地球にはもちろん、着る人にも作る人にも優しいのが魅力です。



サステナブル！
綿100%バックロングカットソープルオーバー
Ranan ¥1,990(税別)

カジュアルな見た目ではエコ。おしゃれの先を意識したプルオーバー。



Recover Blue リカバーブルー

リサイクルコットンとペットボトルから再生したリサイクルポリエステル混紡素材。素材そのものの色を活かしているため、環境汚染の原因になっているとされる染色の過程で発生する有害物質が含まれる排水が少ないのもポイントです。



サステナブル！
アウトシームニットワンピ
Ranan ¥3,990(税別)

リカバーブルーのケミカルでない自然な優しい色合いが特徴のニットワンピ。

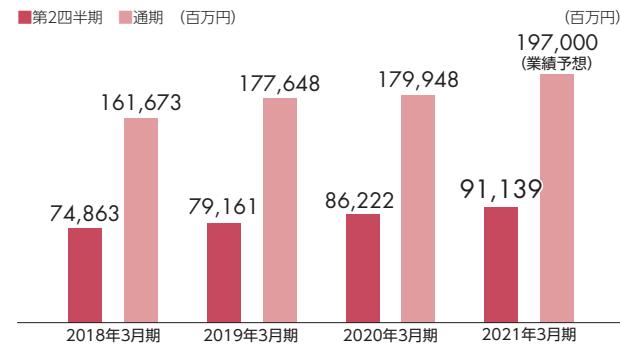


サステナブル！
ガーター編ドルマンニット

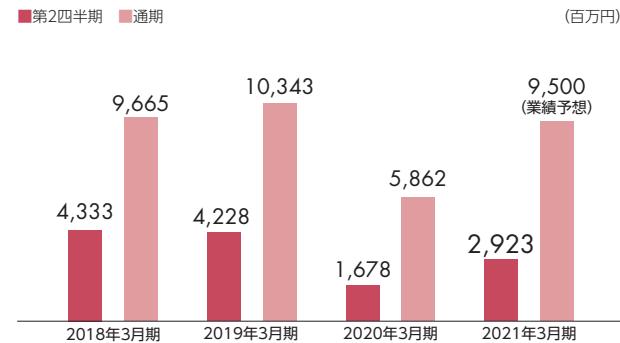
Ranan ¥2,990～¥3,490(税別)

トレンド感+好感度も手に入るデコルテがきれいに見えるドルマンニット。

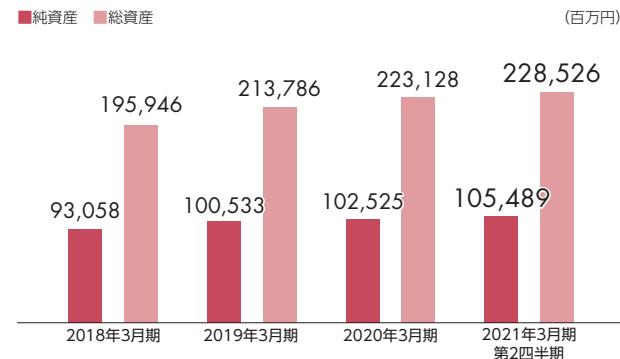
売上高



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



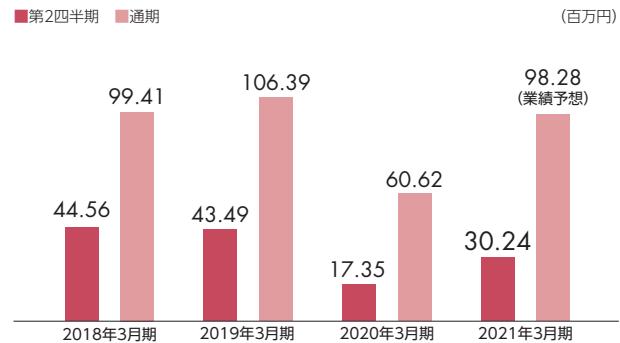
総資産・純資産



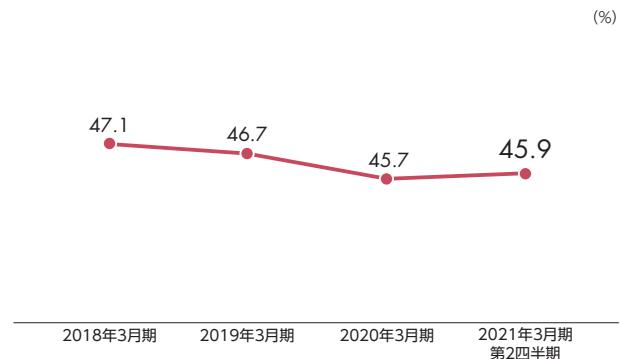
営業利益



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2020年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	103,683	105,827
固定資産	119,445	122,699
有形固定資産	88,651	91,117
無形固定資産	11,827	11,493
投資その他の資産	18,966	20,088
1 資産合計	223,128	228,526
負債・純資産の部		
流動負債	50,135	54,708
固定負債	70,467	68,329
2 負債合計	120,602	123,037
株主資本	106,253	108,413
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	85,177	87,327
自己株式	△491	△480
その他の包括利益累計額	△4,363	△3,543
非支配株主持分	636	618
純資産合計	102,525	105,489
負債純資産合計	223,128	228,526

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

- 1 資産合計**
前期末に比べ、5,398百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金、商品及び製品、建設仮勘定、投資有価証券が増加したことによるものです。
- 2 負債合計**
前期末に比べ、2,435百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加した一方で、長期借入金が増加したことによるものです。
- 3 売上高**
総合／専門通販事業は、コロナウイルス感染症の影響もあり、幅広い顧客層からの需要が高まり、増収となりました。一方、店舗販売事業は、営業時間短縮や臨時休業などの影響を受け減収となりました。
- 4 営業利益**
コロナウイルス感染症の影響を受け、総合／専門通販事業が大幅な増益になった一方で、店舗販売事業およびプロパティ事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた移動制限などの影響でそれぞれ減益となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日
3 売上高	86,222	91,139
売上総利益	50,195	53,751
販売費及び一般管理費	46,332	49,186
4 営業利益	3,863	4,565
営業外収益	501	860
営業外費用	1,069	300
経常利益	3,296	5,124
特別利益	105	2
特別損失	151	242
税金等調整前四半期純利益	3,250	4,884
法人税、住民税及び事業税	1,565	2,107
法人税等調整額	33	△136
四半期純利益	1,651	2,913
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678	2,923

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△258	5,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,025	△4,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,425	△3,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△200	41
現金及び現金同等物の増減額	△3,057	△1,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,293	20,413

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,364名 (連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合会社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役	浅沼 泰匡
取締役	安野 雄一朗	取締役	宮下 正義
取締役	穴戸 順子	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	松田 智博	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	山内 雅人	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	高橋 亮吾		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
渋谷オフィス	(東京都渋谷区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	12,563名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	33,920	35.1
安野 清	9,755	10.1
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,394	6.6
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,037	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,031	3.1
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,748	1.8
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,546	1.6

※持株比率は自己株式 (571,586株) を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
18.9%	23.2%	36.3%	20.5%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告の方法	公告掲載 URL https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番4号
およびお問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部



株式会社 **ベルーナ**
〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号
TEL 048-771-7753 (代表) <https://www.belluna.co.jp/>

